

芸術監督・斎藤 純のショートエッセイ 石神の丘から 6

私は自転車が好きです。

自転車といっても、みなさんがよくご存じのママチャリではなく、ロードバイクというスポーツ自転車です。ちなみに、世界最高峰の自転車ロードレースであるツール・ド・フランスで使われるロードバイクは100万円以上します。もちろん、私のはそんなにはしませんけれど、それでも買うときには清水の舞台から飛び下りるような気分でした（汗）。

その自転車を「宝の持ち腐れ」にしないために、水沢での講演の仕事に自転車で行ったり、沢内までお蕎麦を食べに行ったりするなど、今年はいろんなところを走りました。ハイライトは八幡平アスピーテライン越えです。

盛岡から八幡平アスピーテラインの入り口まで行くのさえ大変なのに、そこからさらにあの長い急坂を登るのですから、はなから私には無理だろうと諦めていたのですが、仲間たちに励まされつつ、何とか走りきることができました。女子マラソンの有森裕子さんではありませんが、「自分で自分を褒めてあげたい」と思いました。

自転車を眺めて過ごすことも私は好きです。現在のロードバイクは機能一辺倒になってしまいましたが、1950年代から1970年代に活躍したロードバイクは、コレクションの対象になるほどの造形美を持っていました。

自転車レーサーとして活躍し、国際プロ自転車競技連盟副会長もつとめた故加藤一画伯が〈自転車のかたち自体、オブジェとして非常に美しい〉と著書『風に描く』に書いています。

サイクリング中の休憩風景をどこか意地悪な視点で描いたレジェや、世界中のグラフィックデザイナーに影響を与えたレイモン・サヴィニャックは、自転車レースの選手を目指したこともあったそうです。日本の画家に大きな影響を与えたフォービズムの巨匠ヴラマンクは、実際に自転車レースの優れた選手でした。

ヴラマンクは「絵を描く資金稼ぎ」のためにレースに出ていたと自伝に記していますが、画家にならずに選手を続けていたらツール・ド・フランスでの優勝も間違いなかっただろう、と専門家からも実力を認められていました。

岩手県立美術館に行く機会がありましたら、2階常設展で松本竣介の『街（自転車）』をぜひご覧になってください。青を基調にした叙情的な作品で、自転車がアクセントになっています。

石神の丘美術館通信《いしび》

いしび

2009.9.1 Vol.83

平成 21 年 9 月 1 日発行
(毎月 1 日発行)
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
HP もご覧ください!!
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

短い夏が終わり、そっと深呼吸をすると、さわやかな秋の匂いを感じられるようになりました。屋外展示場の草木の色も少しずつ変わりはじめ、園路にはどんぐりや栗など木の実が落ちていることも……。秋を見つけに石神の丘へ出掛けてみませんか。

企画展示室では、9月19日より「田村淳一郎 写真展—昭和の農村—」がはじまります。この展覧会では、岩手町沼宮内在住のアマチュアカメラマン・田村淳一郎さんが昭和30年代に撮影した30枚からなる組写真「昭和の農村」(第14回酒田市土門拳文化奨励賞受賞作)のほか、昭和を代表する写真家・土門拳の写真作品を紹介します。写真を通じて、かつて確かにあった日々や暮らしに触れてみませんか。





田村淳一郎《昭和の農村》より 1959(昭和34)年頃 葛巻町冬部

酒田市土門拳文化賞奨励賞受賞記念

田村淳一郎 写真展 —昭和の農村—

岩手町沼宮内在住の田村淳一郎さん（1937年生まれ）は、平成20年、30枚からなる組写真《昭和の農村》で第14回酒田市土門拳文化賞奨励賞を受賞しました。

この作品は、田村さんが20歳代前半に出身地の一戸町のほか、葛巻町、岩手町で子どもを中心とした農村の生活を撮影したものです。

この展覧会では、受賞作《昭和の農村》をはじめ写真作品およそ50点を紹介します。かつて確かにあった日々や暮らしを見つめなおしてみませんか。

会期：2009年9月19日(土)～10月18日(日)

*会期中無休 *初日は開場式を行うため、正午より一般公開します
観覧料金／一般300円／大・高生200円／中学生以下無料

【同時公開】

- 昭和を代表する写真家 土門拳 「こどもたち」、「筑豊のこどもたち」より
- 町の記憶／土地の肖像：町民のみなさんが所蔵する岩手町の写真

石神の丘美術館 友の会主催事業

友の会会員以外の方もご参加いただけます

★アートサロン in レストラン石神の丘

◆9月19日(土) 15:00～
「田村淳一郎さんを囲む会」
企画展にあわせ、作家を囲んでの
交流会を開催します。
参加費：1,000円(友の会割引有)

★ギャラリーコンサート

◆10月16日(金) 19:00～
「朝枝信彦・鈴木弘一ほか
アマデウスによる室内楽の夕べ」
チケット：一般1,000円(友の会割引有)
高校生以下500円

美術鑑賞会

～東北の美術館めぐり／宮城～

日時：10月25日(日)
7時半出発・18時帰着予定
※バスの旅

見学先：宮城県美術館
「トリノ・エジプト展」ほか
参加費：未定(5,000円程度)
(友の会割引有)

*詳しくは、石神の丘美術館(TEL 62-1453)へお尋ねください。

美術館隣接 道の駅／レストラン「石神の丘」情報

このコーナーのお問合せ・ご予約は 道の駅「石神の丘」 TEL0195-61-1600まで

お彼岸フェア



9/19(土)、20(日)
10:00～16:00

会場：道の駅・イベント広場

お彼岸用の切花を産直価格で!

秋の

コース料理

★食前酒 or ソフトドリンク★オードブル／アンティパスト 5種盛り★スープ／南瓜のポタージュ★魚料理／秋鮭とねばり芋のステーキ～プロヴァンス風★肉料理／やまと豚 or 奥羽牛のコンフィ マスタードパン粉焼き～ポルトワイン風味のきのこソース★パン or ライス★サラダ★デザート／マロンケーキ 自家製桃のアイスクリーム添え★コーヒー or 紅茶
3,500円(税込)

コース料理は予約制となっております。上記TELへ申し込みください。

フリーマーケット in 道の駅石神の丘

10/3(土)、4(日)10:00～16:00
会場：道の駅・イベント広場
*雨天時は次週に順延

ただいま出店者を募集中です